

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) 総会開催記念公開シンポジウム

サンゴ礁保全のためのパートナーシップ

～「国際サンゴ礁年」に向けて～

サンゴ礁は、海の熱帯林と呼ばれ、多様な生物を育むとともに、水産業や観光業への寄与、津波や台風に対する防災機能など、人間にとって様々な恵みを与えています。しかしながら、沿岸域の開発、高水温の影響による白化現象、オニヒトデの大発生、不適切な漁業等の影響により、世界のサンゴ礁は危機的な状況にあります。

サンゴ礁保全を目的とした国際的な協力の枠組である国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) (日本とパラオが、2005年7月から2007年6月までの任期で議長国を担当) では、サンゴ礁についての理解をより深めてもらうこと、企業、NGO、行政、研究者、市民など多様な主体が連携してサンゴ礁保全活動を推進することを目的として、2008年を「国際サンゴ礁年」としました。

2007年4月23日、24日に、ICRI総会が東京・池袋で開催される機会を捉え、サンゴ礁の価値や現状について紹介し、多様な主体が連携したサンゴ礁保全について議論をするため、総会の開会式を兼ねた公開シンポジウムを開催します。

開催日時

平成19年**4月22日(日)** (アースデー)
14:00 ~ 18:00

入場無料

会場

立教大学池袋キャンパス11号館AB01教室

プログラム

1. 主催者挨拶

2. 特別講演

「サンゴ礁の美しさ・大切さ」

(田中律子 女優/NPOアクアプラネット会長)

3. 事例報告

サンゴ礁の価値と現状 (国連環境計画・世界自然保護モニタリングセンター)

サンゴ礁の環境教育 (立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科 教授 阿部 治)

地域と連携したサンゴ礁保全 (WWFしらほサンゴ村)

4. パネルディスカッション

「多様な主体の連携によるサンゴ礁保全」

コーディネーター: 名執芳博 (国連大学高等研究所)

石西礁湖の自然再生

(環境省沖縄奄美地区自然保護事務所)

グレートバリアリーフのサンゴ礁管理

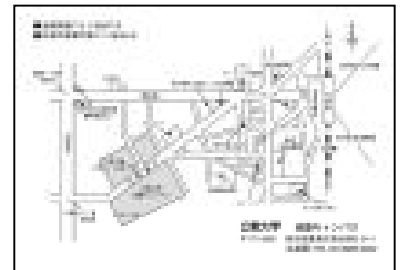
(オーストラリア・グレートバリアリーフ海中公園局)

アメリカサンゴ礁タスクフォースの活動

(アメリカ海洋大気圏局)

マイクロネシアチャレンジ (パラオ国際サンゴ礁センター)

(注) プログラムは変更される場合があります。



同時開催

ポスター展示「Eco-Exhibitions」

10:00 ~ 19:00 (予定)

場所: 立教大学11号館1階 ロビー

主催 環境省、立教大学

後援 日本サンゴ礁学会
日本動物園水族館協会
日本環境教育フォーラム

お問い合わせ先

環境省 自然環境局 自然環境計画課

(担当: 高橋)

電話: 03-5521-8273

FAX: 03-3591-3228

E-mail: keisuke_takahashi@env.go.jp

Web Site: <http://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/>